

【今後の管理】

1 水管理

- ・幼穂形成期から出穂期までの間は、飽水管理を行いましょう。
- ・出穂後20日間は、水深3cm程度の湛水状態を保ちましょう。
- ・フェーンの場合は事前に入水しましょう。

〈水管理のイメージ〉

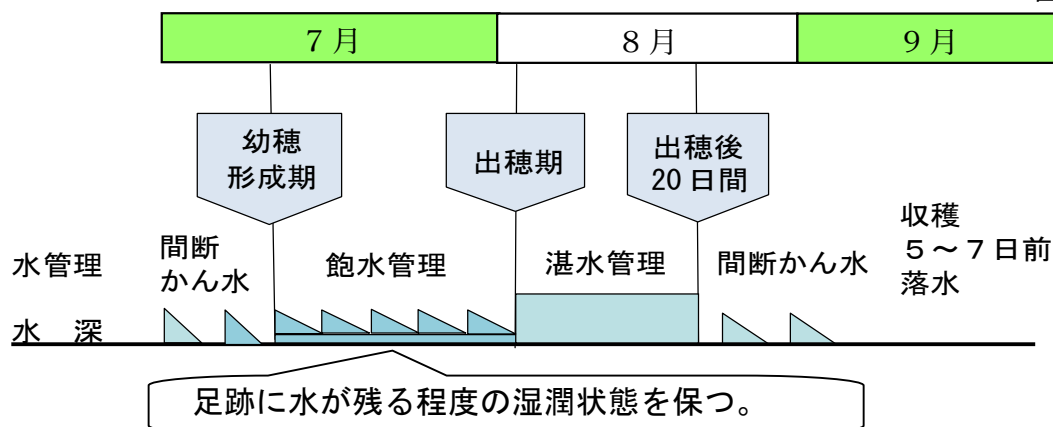


図 飽水管理の状態



2 追肥

- ・出穂7～10日前頃の葉色が4.0以下(砂壤土は4.2以下)と淡い場合は、走り穂の時期までに追肥を行い、穂揃期の葉色が4.2～4.5になるよう誘導しましょう。

〈追加施用の目安〉

《判断基準》 出穂7～10日前頃の葉色	施用時期	肥料名及び 施用量	目標葉色 (穂揃期)
4.0 以下 (砂壤土は 4.2 以下)	走り穂が 見える頃までに	「追肥3号」または 「流し込み追肥化成らくらく」 7kg/10a	4.2～4.5 程度

3 基本防除

《粉剤・液剤体系》

散布 時期	1回目防除 出穂期	2回目防除 穂揃～傾穂期
粉剤	ビームスタークル粉剤5DL 4kg/10a	ラブサイドキラップ粉剤 DL 4kg/10a
液剤	ビームエイトスタークルゾル ブーム等 1,000 倍希釈 1500L/10a ドローン 8倍希釈 0.8L/10a	ラブサイドK2フロアブル ブーム等 1,000 倍希釈 1500L/10a ドローン 8倍希釈 0.8L/10a

《粒剤体系》

出穂の10～12日前
フジワンラップ粒剤 4kg/10a

※粒剤は散布後4～5日間湛水状態を保ち、7日間は落水しない。

※風の少ない朝夕の時間帯に、薬剤が株元までかかるようにゆっくり散布しましょう。

※散布間隔は7日を基本とし、10日以上空けないように計画的に防除しましょう。

【お問合わせ先】

JAIみず野営農指導課 TEL52-6805 高岡農林振興センター農業普及課射水班 TEL26-8478

JA いみず野ホームページ <http://www.ja-imizuno.or.jp/>